ごみを燃やす施設のしくみ

清掃センターでは、「燃やすごみ」をどのように処理しているのでしょうか。

① 計量所

ここで、ごみ収集車が運んで来るごみの重さを量ります。

② プラットホーム

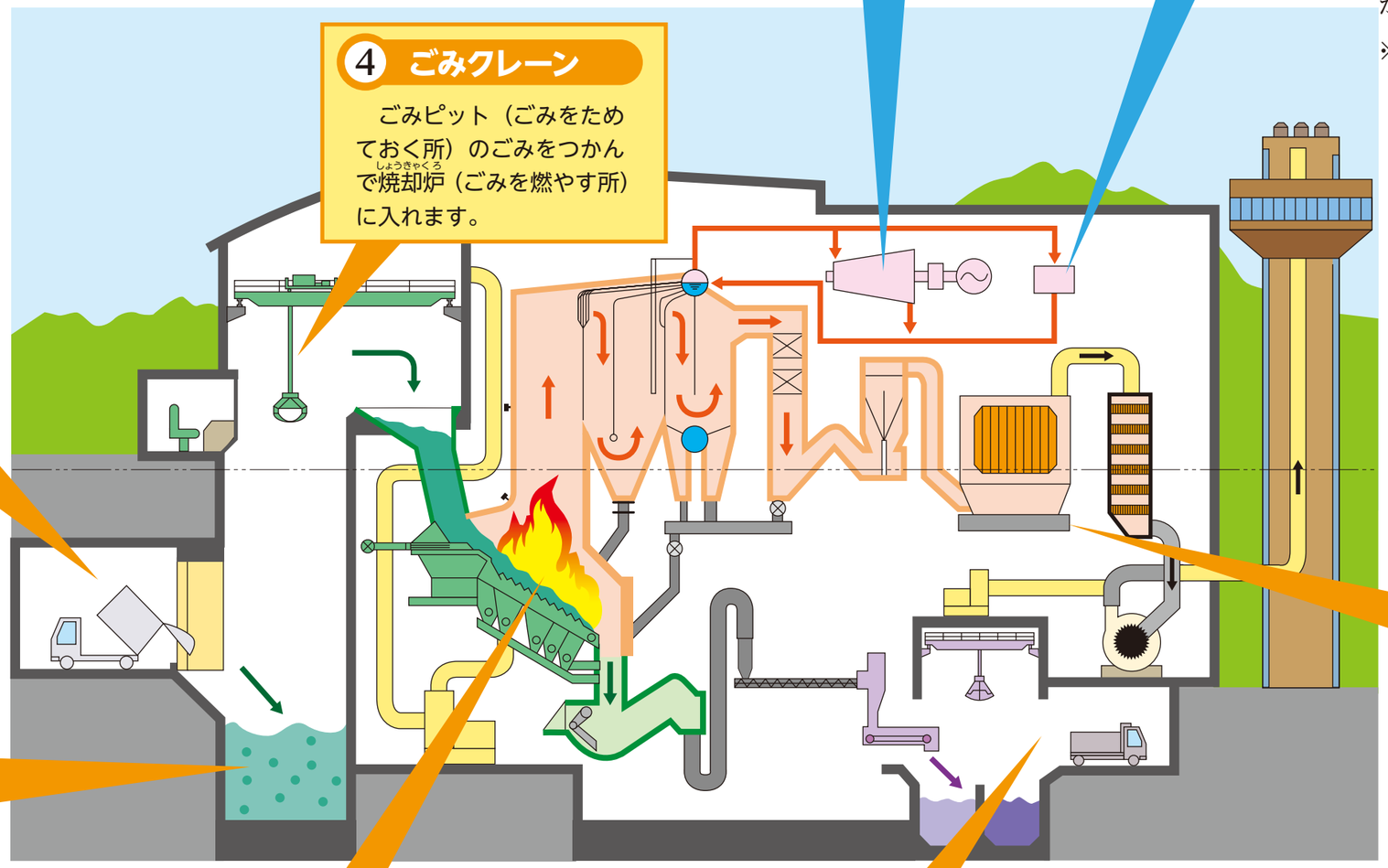
ここで、ごみ収集車がごみをおろします。

③ ごみピット

ごみをためておく所です。

クレーン操作室

ここで、ごみクレーンを動かします。



市には『北部清掃センター』と『南部清掃センター』という、ごみを燃やす施設があります。

北部清掃センターでは、１日300トン、南部清掃センターでは１日390トンのごみを燃やすことができます。

※図は南部清掃センター

中央制御室

ここで、コンピュータを使って、清掃センター内の機械などをコントロールしています。

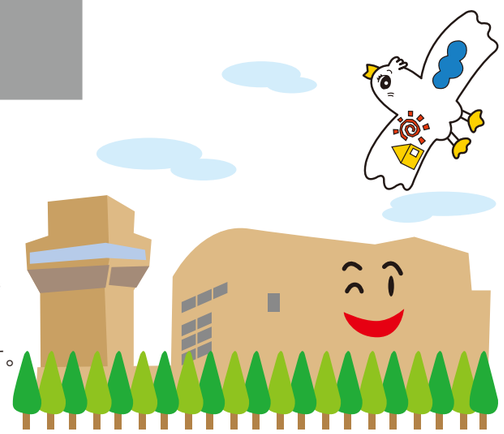
⑥ 公害防止設備

煙の中の有害物を取り除きます。

⑤ 焼却炉

ここで、ごみを燃やします。南部清掃センターは、１日130トンのごみを燃やせる炉が３基あります。

⑦ 灰ピット

灰を積んでいるところ。

※灰は人工砂などにリサイクルされています。